

カーキE.T.Oのベゼルには、あらゆる単位に対する時間、距離、速度の3つの値を計算する機能が備わっています。



時間の計算 (E.T.O.)

例) 速度: 時速140km、走行距離: 45km

1. 回転式アウターベゼル①を回し、赤い矢印の正面に14 (時速140kmの10分の1) を合わせます。
2. 同ベゼル上①の45の目盛りを見ます。
3. 正対する固定式インナーベゼル②上の目盛りが時間値19.4分を示します。この値を保存するには、リューズ①を使いウィンドウ③に時間値を表示させます。

距離の計算

例) 速度: 時速140km、所有時間: 15分

1. 回転式アウターベゼル①を回し、赤い矢印の正面に14 (時速140kmの10分の1) を合わせます。
2. 固定式インナーベゼル②上で15の目盛りを見ます。
3. 正対する回転式アウターベゼル①上の値が距離35kmを示します。

速度の計算

例) 走行距離: 140km、所有時間: 8時間

1. 回転式アウターベゼル①を回し、14 (時速140kmの10分の1) を固定式インナーベゼル②上の8:00の正面に表示します。
2. 赤い矢印の正面に対応する回転式アウターベゼル①上の値が時速17.5kmを示します。

中間タイムの計測 (スプリットセコンド機能)

スタートポイントから徐々に複数の中間タイム (ラップタイム) を計測することができます。中間タイムを読んでいる間もスタートポイントからの経過時間は、そのまま継続して計測されます。※スプリットセコンドによる積算には4時位置の赤いリューズを操作、設定する。

フライバック機能

フライバック機能 (retour-en-volまたはinstant restartとも呼ばれています。) により、ボタンⒷをプッシュし、カウンターの針を瞬時にゼロに戻すことができます。ボタンを離した瞬間ラージスウィープ秒針が新たに計測をスタートします。この機能を利用することでクロノグラフ操作が数秒間速まるので、航空機の針路計算などに最適です。